

キアゲハのかんさつ

山鹿市立山鹿小学校 4年 宮永 元太

1 研究の動機

毎年、庭のパセリにキアゲハの幼虫がくる。観察してみたが、2年間チョウになるところを見ることができなかった。何びきもいるのに毎年見ることができないのはどうしてなのか？今年こそはチョウになるところを見てみたい。

2 研究の方法、結果と考察

- (1) 2013 年…庭で自然に羽化するところを見ようと考えたが、幼虫は1匹もいなくなった。
- (2) 2014 年…飼育ケースに5齢幼虫を入れ観察したが、蛹にならないまま死んでしまった。
- (3) 2015 年（春）…庭で蛹になっていたものを枝ごと飼育ケースに入れて観察したが、アオムシコバチに寄生されており、うまくいかなかった。
- (4) 2015 年（夏1）…卵を観察してみると、黒いものと黄色いものがあり、黒い卵は育たないことがわかった。卵も寄生されるのだろうか。
- (5) 2015 年（夏2）…産卵後すぐに飼育ケースに入れ、卵から飼ってみた。（飼育ケース・防虫シート・割りばし・ねん土・段ボール・紙・マイクロスコープ・ビデオカメラ）＜結果＞産卵後4日目にふ化。16日目には、糸をかけ始め2時間かけて割りばしに体を固定（前蛹）。じっと動かないままで（約20時間）体が白っぽくなる。ぴくぴくと動き出した後、じゃばらが動くようにぐによぐによと激しく動き、皮がずれていった。背中がやぶれ、突起が出てくるとみるみる背中が破れ、皮が脱げていく。皮が脱げると、体を左右にくねらせて皮を落とした。約33分かけて皮を脱ぎ、その後体をくねらせて、糸の位置を調整した。（蛹化）

【産卵から羽化までの変化】																												
産卵からの 日数(日目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
キアゲハ の変化	8/5 産卵		卵に模 様が見 える	8/8 ふ化		8/10 脱皮		8/12 脱皮		8/14 脱皮		8/16 脱皮				8/20 蛹化										8/30 羽化		
	卵		1齢幼虫		2齢幼虫		3齢幼虫		4齢幼虫		5齢幼虫		前蛹		蛹										成虫			



3 分かったことと感想

- 観察をして、キアゲハは寄生されることや蛹になるために庭では10メートル以上も移動していたことが分かった。また、卵の殻や脱皮した皮を食べることや幼虫が足をうまく使ってエサを食べること、産卵後4日目にふ化し、2日ごとに4回脱皮すること、2時間もかけて糸をかけ前蛹になり、20時間で蛹の形に変化することなど多くのことが分かった。
- 一番すごいと思ったのは、前蛹から蛹になるところで、その動きが激しくてびっくりした。予想以上に時間をかけて蛹になることも分かった。何回も失敗したが、その度にいろんなことが分かり、もっと知りたい気持ちになった。羽化するところを見ていないのでぜひ見てみたい。